

## 令和3年度島田市健康づくり推進協議会 歯科保健部会実施報告

出席者	<p>島田歯科医師会、榛原歯科医師会、島田市校長会、島田市健康づくり食生活推進協議会、島田市地域ふれあい連絡協議会、島田商工会議所、学校教育課、包括ケア推進課、福祉課、保育支援課、健康づくり課の各代表者 静岡県（兼中部健康福祉センター健康増進課）、事務局（健康づくり課）</p>
第1回	<p>日時：令和3年10月14日（木） 18:00～19:00 会場：島田市保健福祉センター 3階研修室</p> <p>(1) 部会長選出 (2) 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の目標等について（県） ・国は目標、達成期間を令和5年度まで1年延伸。令和5年春頃を目途に次期基本事項を公表、令和6年度から開始予定。 ・コロナ禍において、う蝕の増加が懸念されている。 ・学校歯科統計や歯周疾患検診結果における状況分析 (3) 島田市の歯科保健事業について ①島田市健康増進計画及び食育推進計画と歯科保健事業について ・ライフステージ別事業の説明（健康教育、訪問歯科診療等） ・歯周疾患検診受診票の見直し及び自己負担金を500円に変更。 ・新）中学校対象に健康教育開始 ・新）広報紙での啓発（歯周病予防、オーラルフレイルに関する記事を掲載） ・新）国保の糖尿病重症化予防歯科検診の開始。 ②フッ化物等応用事業（洗口及び塗布）について (4) 情報・意見交換 ・歯科保健の推進について フッ化物応用事業による健康貯金の推進、「しまだしっかり健康体操」（お口のトレーニング）のDVD作成、学校での取組等</p>
第2回	<p>日時：令和4年2月3日（木） 18:00～19:00 会場：島田市保健福祉センター 3階研修室ほか（ZoomによるWEB会議）</p> <p>(1) 令和3年度の歯科保健事業の実施状況について ・フッ化物応用事業（洗口・塗布）、健康教育、在宅訪問歯科診療・相談、歯周疾患検診、オーラルフレイル対策等 ・コロナ禍における事業の実施について ・5歳児歯科調査及び小中学校歯科健診結果等の分析（乳歯の状態は良いが、永久歯の状態はむし歯有病者率、歯肉炎有病者率とも県平均以上） ・障害者への健康教育効果 (2) 情報・意見交換 ・第4次島田市健康増進計画・食育推進計画策定に係る歯科アンケート等について ・各現計画の指標とアンケートとの関連、県指標を基にした検診結果分析 ・アンケートにより無関心層へのアプローチ、啓発に繋がる ・特に学生に対しては、質問や回答の選択肢を工夫すること、知識の定着に繋がるアンケート後の解説等の必要性</p>

令和3年度島田市健康づくり推進協議会 こころの健康部会実施報告

開催日	令和4年2月18日（金）午後6時から午後7時20分まで
出席者	静岡福祉大学、島田商工会議所、島田市校長会、静岡県中部健康福祉センター福祉課、島田市金谷・川根中学校区地域包括支援センター
会場	島田市保健福祉センター 3階研修室
検討内容	<p>報告</p> <p>① 地域自殺実態プロフィールから見た島田市の自殺の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島田市で推奨される重点パッケージは、高齢者、生活困窮者、子ども・若者、勤務・経営の4つである。島田市の特徴として、子ども・若者が毎年入っている。</li> <li>・自殺者特性の1位は男性60歳以上無職同居、2位は女性60歳以上無職同居、3位は男性20～39歳有職同居、4位は男性20～39歳無職同居である。</li> </ul> <p>② 令和3年度島田市及び関係機関における課題や取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートキーパー養成講座の開催は8回、227人で、自殺対策計画2023年までの目標である1000人を超えた。こころの健康講演会や相談窓口等啓発、庁内連携会議について報告した。</li> <li>・県では教育委員会と連携し、中学3年生を対象に出前講座を実施した。LINE相談の紹介や自分を大切にしてほしい、SOSを出すことが大事ということの啓発を行った。</li> <li>・商工会議所でゲートキーパー養成講座を開催し受講した。島田市は中小企業が多く経営が大変で経営以外に目がむけられない。</li> <li>・金谷・川根地区包括支援センターでは、高齢者と介護家族がうつになる相談が多い。川根地区はぎりぎりまで本人や家族が頑張り、重症化してから相談する人が多い。</li> <li>・ハローワークでは臨床心理士によるこころの健康相談やサポーターによる就労支援・相談を実施しており、いずれもほぼ予約が埋まる状況</li> </ul> <p>③ 来年度事業計画について</p> <p>こころの健康部会を2回開催し、自殺対策計画の進捗管理や第2次計画のアンケート項目の検討を行う。人材育成や普及啓発は今年度と同様に実施する。相談窓口一覧表は来年度も作成し配布する。</p> <p>◎こころの健康講演会の実施方法やテーマについての意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度、3年度はこども・若者の生きづらさの1つの要因である発達障害をテーマにした。</li> <li>・国としてもこどもの貧困や発達障害は注目している。こども・若を重点の一つとしたらよい。</li> <li>・発達障害がある場合、学生時代は支援があるが、就職後は本人も苦しい。発達障害の問題もいい。</li> <li>・こどもに対する人権教育は県も重点を置いており、充実させていくべき。こどもに聞かせたい命の授業もある。</li> <li>・経営者は経営そのものが大変でそれ以外に目が向けられない。講演会は現実的に厳しい。健康経営と言われるが、島田市は少ない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ライオンズ、ロータリークラブ、JCなど若い経営者に関心を持ってもらうのもいい。大きい講演会もいいが、小規模でやるのもいい。</li><li>・島トレなど小規模でやっていく。市でオンラインの川根・金谷会場を設置してほしい。</li><li>・4つのうち1でもトライすることが大事。今出た意見を整理して来年度事業を進めてほしい。市は市で行い、部会員は関連部署につないでほしい。</li></ul>
--	---

令和3年度島田市健康づくり推進協議会 健康管理部会実施報告

開催日	令和4年1月14日（金）午後7時から午後8時30分まで
出席者	島田市医師会、島田歯科医師会、島田薬剤師会、島田市総合医療センター（薬剤師）、島田市国保年金課、島田市健康づくり課
会場	島田市保健福祉センター 3階研修室
検討内容	<p>1 健康管理部会について          成人の健康管理の推進に必要な事項を協議し、いただいた意見は第4次健康増進計画に反映させる。</p> <p>2. 部会長選出          島田市医師会の篠崎委員が部会長に就任した。</p> <p>3. 島田市の健康課題と強みについて説明          ・死亡原因の4分の1を悪性新生物が占めている。全国・県と比較し男女とも老衰・脳血管疾患・脳内出血が多い。          ・特定健診結果では地区ごとに課題が違い、北部地域は高血圧や糖尿病の割合が高い。          ・平成30年度特定健診・特定保健指導の結果では、島田市の男性は高血圧予備軍と糖尿病予備軍が優位に高い。一方でメタボ該当者や肥満該当者などは優位に低い。女性は糖尿病予備軍が優位に高く、メタボ該当者や肥満者等は優位に低い。運動習慣がない人は男女とも優位に高い。          ・令和元年の静岡県の健康寿命は全国5位で、島田市のお達成度は男女とも平均より少し高い状況である。</p> <p>4 関係機関の取り組みについて意見交換          ・山間部は車での移動が多いことや、農作業中にお茶菓子を食えることなどにより地区ごとの健康課題の違いがあると思われる。          ・島田市薬剤師会で2019年から処方薬の過剰投与のチェックを行っている。処方内容を確認した結果、67件で薬剤が変更になった。その他40件の情報提供をした。          CKD患者へのシール貼付を行っている。          ・歯科医師会では口の健康が糖尿病など全身の健康につながることを周知したい。          ・総合医療センターでは、CKDシールは患者の意識づけに役立っている。地域連携は大切なので、退院患者の情報提供を考えていかなければならない。</p>

- ・国保年金課では、島田市民は受診率が高いが医療費は安いと分析している。透析の原因疾患の43%が糖尿病であり、全国と同じ状況である。腎臓病・糖尿病・高血圧の医療費が高く、腎機能が低下している人が増えている。軽症のうちに予防が必要。
- ・後期高齢者が増加しても透析患者が横ばいなので、良いのではないか。高血圧による腎硬化症が増加している。
- ・ピンピンコロリがいいという市民の意見をよく聞く。健康寿命の延伸を目指したい。
- ・健康に関する無関心層も多く、健康格差がある状況。普通に生活するだけで減塩などの健康づくりになる0次予防がいい。保健委員や健幸アンバサダーの活動を通じて健康情報の提供をするなど健康課題の解決に向けた活動が必要である。
- ・医師や薬剤師などが健康情報を伝えた方が説得力がある。市民に伝えて行動変容を目指したい。大分県は健康寿命が急に改善した。その裏にはタクシーでの禁煙活動などがあったと聞く。
- ・地区ごとの講座をやりたい。国保被保険者から、市民全体を対象を広げる。
- ・CKDの蓄尿・塩分測定は高血圧の人を対象にすればいい。サルコペニアの耐糖能異常については、筋肉を減らさないことが大事。
- ・R4年度に健康増進計画策定のための市民アンケートをとるので、アウトカムを示せるアンケート項目を入れる。
- ・40～50歳代の指導が必要。
- ・若い健康無関心層を狙った健幸マイレージ事業を実施している。企業に勤めている人に周知したい。
- ・市内には10人以下の企業が多い。大企業は健康経営に取り組んでいるが、中小企業に働きかけるためには商工会議所とタイアップする必要がある。
- ・アウトカムを意識した健康増進計画にする必要がある。